



朽木中学校だより

令和4年度学校だより 第11号 令和5年4月10日 高島市立朽木中学校(文責 斉藤隆史)

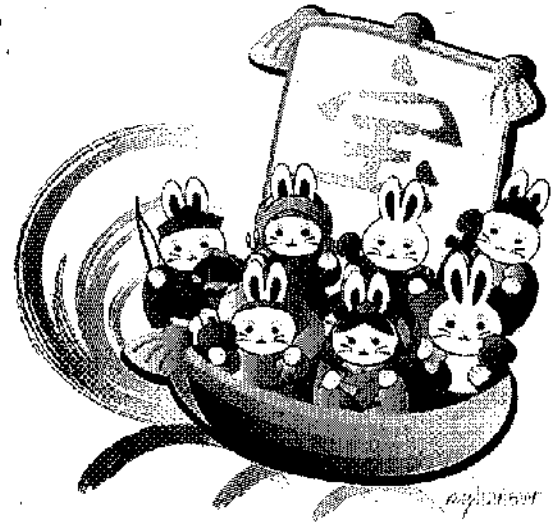
新年明けましておめでとうございます！

新学期の始まりは、誰にとっても物ごとの取組への新たな期待と共に、挑戦への意欲を高めてくれます。それだけに、今学期どのような自分でありたいか、そのためにどのような役割を果たすべきかを自分自身でしっかりと意識することが大切です。「わからなかったことが理解できてよかった」「できなかったことができるようになってうれしい」という自らの活動の成果を実感するためには、目標をもち、その実現に向けて一杯取り組む過程が重要なのです。

私たち人間は、目標があることで努力し、努力したことで成果を期待するものです。目標を設定することなく漠然と努力しているのでは、やる気も高まりません。そこで、自分自身の目標を設定することで、困難を乗り越えて頑張ろうという強い意志をもつことができるのです。とは言え、努力すれば必ず望んだ結果を手にするわけではありません。しかし、目標に向かって努力することや諦めずに取り組んだ満足感は、目に見える結果以上にやりがいをもたらしてくれます。その意味で、目標を達成できなくても、好ましい結果が得られないことで努力がすべて無駄になったわけではないのです。目標に向けて、自らの力を注ぐことで充実感や自信をはじめ、次への挑戦につながる意欲をも手に入れることができます。このように目標をもつことには、大きな意味があります。

学ぶことは、「まねること」と言われるように、学ぶ環境にお手本となる存在は、欠かせません。目指す姿が見えることで、学びが実現するとも言えます。それだけに、身近な存在である大人は、よきお手本としての役割が求められます。教育は、共育であり、鏡育でもあります。そこにあって、子どもは大人の鏡であるとも言われます。新学期を迎え、私たち大人が親として、教師として子どもの目指す姿であることを意識し、目標をもって前向きに生きる姿を示しながら、その役割を果たしていきたいと考えています。「目標に向かって取り組む」、その実現への近道がここにあります。

今年卯(うさぎ)年です。「卯」はもともと「茂」という字が由来と言われ、「春の訪れを感じる」という意味のようです。また、「卯」という字の形が「門が開いている様子」を連想させることから「冬の門が開き、飛び出る」という意味もあると言われています。コロナウィルス感染症が収束に向かうことを祈るとともに、うさぎのように一人ひとりがさらに大きくジャンプアップできるよう、新たな気持ちで頑張っていきましょう。



2月以降の主な行事

2月 3日(金)

PTA新旧役員会

3月 10日(金) 同窓会入会式 3年生を送る会

2月 6日(月)

入学説明会

3月 13日(月) 卒業式予行会

2月 20日(月) 21日(火) 第4回テスト

3月 14日(火) 卒業式

